

# 聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

## 第6章 預言者における祈り④



### エレミヤⅢ

エレミヤは、受けている迫害について祈り、神の回答の一言葉を探し求めて祈り、取り去られることのない痛みについて祈る中で、自らの性格、神の召命に対する忠実さ、心の葛藤を露わにしています。祈る人とその祈りは、ほぼ分かちがたく一致しています。両者は互いに互いの一部であるのです。



主よ。あなたはご存じです。私を思い出し、私を顧み、私を追う者たちに復讐してください。あなたの御怒りをおそくして、私を取り去らないでください。私があなたのためにそしりを受けているのを、知ってください。私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、主よ。私にはあなたの名がつけられているからです。私は、戯れる者たちの集まりにすわったことも、こおどりして喜んだこともありません。私はあなたの御手によって、ひとりすわっていました。あなたが憤りで私を満たされたからです。なぜ、私の痛みはいつまでも続き、私の打ち傷は直らず、いえようもしないのでしょうか。あなたは、私にとって、欺く者、当てにならない小川のようになられるのですか。（エレミヤ書 15:15-18）

エレミヤは、その時代のための神の預言者でした。彼の務めは、人々にその邪悪な道から立ち返るよう警告し、赦しと回復を受け取るよう彼らを招くことでした。しかしながら、人々は応答しませんでした。そればかりではありません。聖書を見ると、エレミヤは人々からの失望と怒りに苦しめられているのです(15 節を参照)。

真摯な人物にとっては、神との交わりと請願というロケットを発射するための固形燃料はただ一つ、真理である神の御言葉しかありません。エレミヤはそのことに気づいていました。人が自分の祈りに聖なる御言葉を取り入れることを学ぶまでは、大きな機会を失ったままなのです。というのも、最高の祈りというものは、御言葉そのものから祈られる祈りだからです。エレミヤが食べた言葉は、彼にとっては霊的なマナでした。それは彼の楽しみであり、「心の喜び」だったのです。なるほど、詩篇の記者も「みことばの戸が開くと、光が差し込み」（詩篇 119:130）と宣言しているわけです。

しかしながら、主の御手が置かれている人は、自分が他の人から浮いていることに気づくことでしょう（15:17）。「戯れる者たち」という言葉は、「笑う者たち」や「嘲る者たち」と翻訳することもでき、この若い預言者が、同世代の派手で遊び好きな人々と行動を共にしていなかったことを示しています。神からの重荷が心にあったため、エレミヤの歩みは、孤独と隔離、聖なる心配といった側面を帯びたものとなっており、彼を、何の気苦労もなく好きなことにふけっている仲間たちとは相容れない存在にできてしまっていました。同様の体験は、教会史を通じ、他の人々も多かれ少なかれ体験してきています。すなわち、祈りの熱心さから神のお心の核心部分に入り、同時に、それがゆえに反発や誤解に苦しめられてきたのです。彼らは、神とほぼ一体化してしまっていたので、他の人々とは全く別物となってしまうことがわかっていました。ジョン・ノックス、デイビッド・プレイナード、ウォッチマン・ニーなどは、その一例に過ぎません。しかし、そのような祈りの勇士たちの存在する余地や必要は、まだまだ残っているのです。

神がエレミヤに約束なさったことは、人々の反発に直面しても負けないように彼を強めるということでした（20 節）。エレミヤは、イスラエルの国の癒しと救いと同様、自分自身の癒しと救いについても神により頼んでいました。彼は、神が生きておられ、祈りに答えてくださるという知識からあふれる確信を、行動で示しました。彼の単純ながらも断固とした説得に目を留めてみましょう。「私をいやしてください。主よ。そうすれば、私はいえましょう。私をお救いください。そうすれば、私は救われます」（17:14）。

イスラエルの望みである主よ。あなたを捨てる者は、みな恥を見ます。「わたしから離れ去る者は、地にその名がしるされる。いのちの水の泉、主を捨てたからだ。」私をいやしてください。主よ。そうすれば、私はいえましょう。私をお救いください。そうすれば、私は救われます。あなたこそ、私の賛美からです。ああ、彼らは私に言っています。「主のことばはどこへ行ったのか。さあ、それを来させよ。」しかし、私は、あなたに従う牧者となることを、避けたことはありません。私は、いやされない日を望んだこともありません。あなたは、私のくちびるから出るものは、あなたの御前にあるのをご存じです。私を恐れさせないでください。あなたは、わざわいの日の、私の身の避け所です。私に追い迫る者たちが恥を見、私が恥を見ないようにしてください。彼らがうろたえ、私がうろたえないようにしてください。彼らの上にわざわいの日を来たらせ、破れを倍にして、彼らを打ち破ってください。（エレミヤ書 17:13-18）

祈る人々は、祈りの対象である方の偉大さを常に思い起こすべきです。エレミヤにとって、この方は「イスラエルの望み」であられました。思い起こすということは、信仰が刺激されるのに気づくということです。神がどのような方であるかについての意識を新たにすることで自らの信仰が助けられるのに加え、祈る人々はまた、神から離れることと離れないことの結果に思いめぐらすことで、自分自身もまた、助けられることになるのです。エレミヤにとって、それは、名前が ちに書かれること（17:13）と、永遠の岩に刻まれることほどの違いがありました。

エレミヤ書は、一読する限りでは、エレミヤが迫害コンプレックスを抱えており、すぐにでも天から炎を降らせようとしている(ルカ 9:54 を参照)かのように見えるかもしれませんが、しかし、この預言者は、神のお心にしっかりと調和した形で祈りを捧げていました。

主よ。私に耳を傾け、私と争う者の声を聞いてください。善に悪を報いてよいでしょうか。まことに彼らは、私のいのちを取ろうとして穴を掘ったのです。私があなたの御前に立って、彼らに対するあなたの憤りをやめていただき、彼らについて良いことを語ったことを、覚えてください。それゆえ、彼らの子らをききんに渡し、彼らを剣で殺してください。… あなたが突然、略奪隊に彼らを襲わせるとき、彼らの家からの叫びが聞こえます。彼らは私を捕らえようと穴を掘り、私の足もとに、わなを隠したからです。しかし、主よ。あなたは、私を殺そうとする彼らの計画をみな、ご存じです。彼らの咎をおおわず、彼らの罪を御前からぬぐい去らないでください。彼らを、御前で打ち倒し、あなたの御怒りの時に、彼らを罰してください。(エレミヤ書 18:19-23)

ここで思い出さなければならないことは、神のメッセージを伝えるこの預言者の上に置かれたものは、とりもなおさず、神の上に置かれたものでもあるということです。この預言者の苦難は、その主人の苦難でもありました。この預言者の憐れみ、心配、願い、神のメッセージへのたゆまぬ忠誠に対する人々の反応は、そのまま、神の恐ろしい怒りを招くものとなったのです。エレミヤの祈りは、本質的に、神の応答と意図に対して完全な同意を表しているのです。

しかしながら、神からのお答えを求めつつも即答をいただけない多くの人々のように、エレミヤは再び、神がご自分の使者に対して誠実に約束をお守りくださるのか疑問を抱いています。彼は、神に惑わされたという、落胆した感情を表現することまでしています。

主よ。あなたが私を惑わしたので、私はあなたに惑わされました。あなたは私をつかみ、私を思いのままにしました。私は一日中、物笑いとなり、みなが私をあざけります。…私は、「主のことばを宣べ伝えまい。もう主の名で語るまい」と思いましたが、主のみことばは私の心のうちで、骨の中に閉じ込められて燃えさかる火のようになり、私はうちにしまっておくのに疲れて耐えられません。…正しい者を調べ、思いと心を見ておられる万軍の主よ。あなたが彼らに復讐されるのを私に見せてください。あなたに私の訴えを打ち明けたのですから。(エレミヤ書 20:7、9、12)

なんという短絡的な祈りでしょうか。あるいは、本当に短絡的な祈りだったのでしょうか。「惑わされた」というのは、ここでは強すぎる言葉かもしれません。神は、どのような意味においても惑わす方ではないからです。「誘惑された」というのも、このヘブライ語の翻訳としては一案ですが、いずれにせよ、深い落胆の時には、だまされたと感じるものです。しかし、私たちが幻想や偽りの思い込みを抱いていようが、神は誠実に教えてください。エレミヤは、最初に召命を受けた時の、預言者としての務めを初めて受け入れる際の戸惑いに言及しているのかもしれませんが。ただし、これは、心の重圧と狼狽が負いきれないもののように思えた時に --- ほぼその状態まで誘惑されたことは確かながら(20:8-9 を参照) --- 彼が弱くなっていたと語っているものではありません。

## ？ 質問

- 1 エレミヤは祈り続ける中で、何を露わにして祈っていますか？ あなたは、自分の性格や傾向を考えると、どんなことを祈る必要があると思いますか？
- 2 神との交わりと請願を進めるために必要なものは何ですか？ 最高の祈りとはどんな祈りですか？  
あなたも同じような祈りをしていますか？ そのような祈りをするためにどうしたらよいと思いますか？
- 3 エレミヤはどのような点で他の人から浮いている存在でしたか？ エレミヤの歩みは他の人たちと比べるとどんな様子でしたか？ その理由は何ですか？ あなたは祈りの勇士になっていますか？
- 4 祈る人が常に思い起こすべきことは何ですか？ 思い起こすと信仰はどうなりますか？  
どうしたら思い起こすべきことを思い起こすことができると思いますか？
- 5 エレミヤは神に対してどんな疑問をいただき、どんな感情を表現していますか？  
エレミヤが祈りの中で使っていることばをどう思いますか？（「主よ。あなたが私を惑わしたので、・・・」）
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？  
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

天の父なる神さま。あなたのことばをもとに祈り、あなたがどれほど偉大な神であるかを思い起こし、祈り続けることができますように。たとえ、祈ることで人から浮いてしまうように感じるがあっても、あなたの心を自分の心として祈る祈りの勇士となることができますように。